

・その他

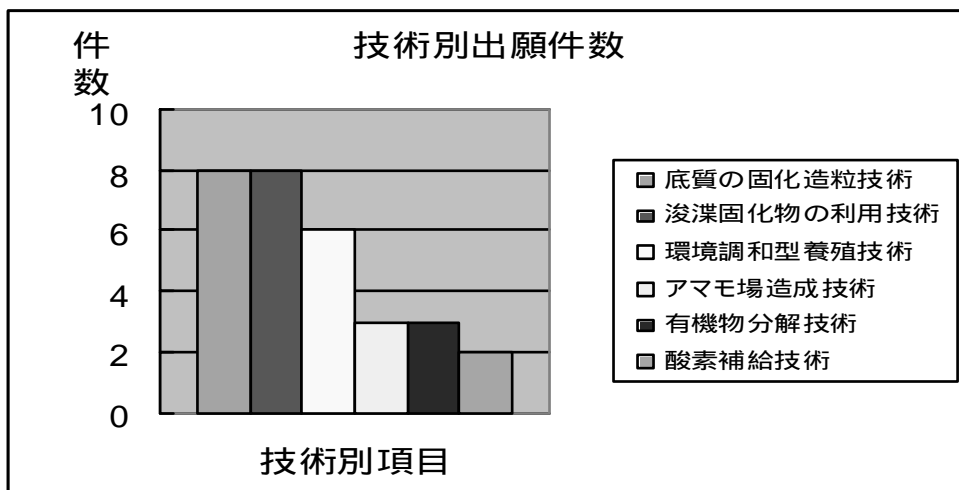
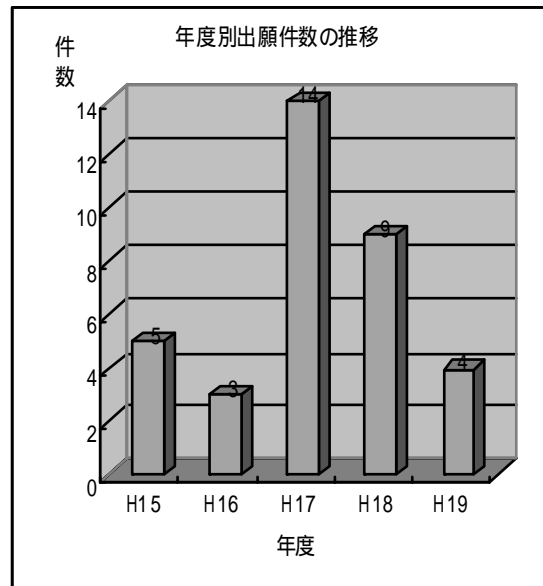
1. パテントマップ、技術マップ

本事業で出願した特許件数を年度別に見ると、出願した特許35件のうち、平成17年度が14件、平成18年度が9件と多く出願されている。

平成19年度に出願された特許件数4件と併せて、フェーズで出願された特許が27件と80%近くを占めている。

これは、基礎的研究の段階から現場実証実験の段階に入って、出願特許の件数が大幅に増加しており、それぞれ研究が順調に推移したことが数字となって表れている。

出願された特許を技術別に見ると、新規固化剤や浚渫土の処理装置の關係の「底質の固化造粒技術」が8件、浚渫土を利用した海洋ブロックの製造方法やアサリの育成土としての利用などの「浚渫固化物の利用技術」が8件と、この2つの技術分野で最も多く特許が出願されている。次いで、貝肉含有廃水の処理方法やアコヤガイ閉核力の測定方法・アコヤガイの養殖管理方法などの「環境調和型養殖技術」に関する出願特許が6件、アマモの無菌培養法やアマモの育成方法、また、アマモ移植用基盤シート・アマモ造成方法などの「アマモ場造成技術」に関する出願特許、微生物による「有機物分解技術」に関する出願特許がそれぞれ3件、その他、マイクロバブル酸素発生ノズルなど「酸素補給技術」に関するものが2件となっている。



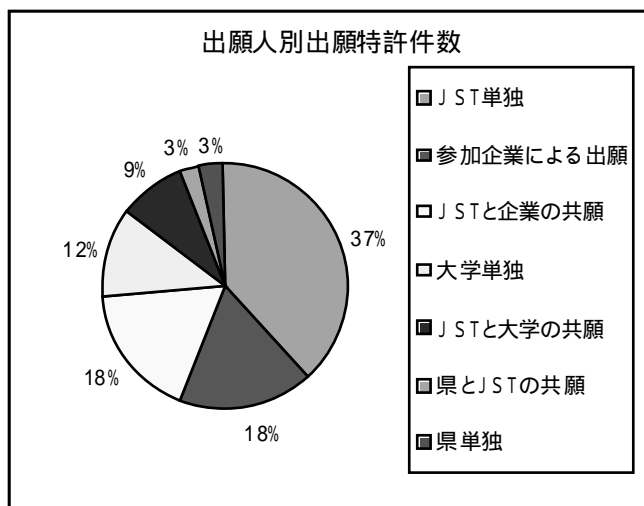
出願人別に見ると、出願した特許のうち、独立行政法人科学技術振興機構単独による出願が13件と最も多く、次いで、参加企業による出願、独立行政法人科学技術振興機構と企業との共願がそれぞれ6件となっている。

出願した国内特許34件のうち、共願の特許も含めて独立行政法人科学技術振興機構

が出願人となっているものが23件と約70%を占めている。下記の表で、大学が出願した特許は、単独で出願したもの、4件、共願で出願したもの、3件の併せて7件であるが、大学の教官が発明人になっていても、出願する段階になって権利放棄する案件もあり、大学の教官が発明人に名前を連ねている出願特許は、11件であり、全体の約1/3を占める。

出願人別出願特許件数

出願人	件数
JST単独による出願	13
参加企業による出願	6
JSTと企業との共願	6
大学単独による出願	4
JSTと大学の共願	3
県とJSTとの共願	1
県単独による出願	1
計	34



2. 成果一覧

成果一覧については、下記の様式に記す。

- ・学術的、技術的、対外的活動調査票... [様式 8]
- ・学術的実績（論文・口頭発表・書籍発表）... [様式 9]
- ・技術的実績（国内特許・展示会出展等）... [様式 9]
- ・地域への波及効果（マスコミ・発表会・団体訪問）... [様式 9]
- ・他事業への展開、実用化、商品化、起業化実績... [様式 10]

3. 参加者一覧等

参加者一覧等については、下記の様式に記す。

- ・参画研究機関、企業一覧... [様式 11]
- ・参画研究者一覧... [様式 12]
- ・研究テーマ一覧... [様式 13]

英
虞
湾
に
お
け
る
底
質
汚
染
の
進
行

閉鎖性海域環境創生 Patent マップ

出願済特許
創出技術

英
虞
湾
に
お
け
る
環
境
創
生

固化造粒技術

浚渫固化物の利用技術

新規固化剤

海洋ブロック

固液分離装置

アサリ育成土

水質洗浄用焼結体

自然浄化機能の増進

養殖負荷の軽減

底質の有機物分解技術

無菌培養法

貝肉含有廃水の処理方法

アマモの育成方法

有害赤潮原因藻類の増殖抑制方法

アマモ移植用基盤シート・

中層海底とアコヤ貝の養殖方法

アマモ造成方法

アコヤガイ閉核力の測定方法・アコヤガイの

養殖管理方法

アマモ場造成技術

環境調和型養殖技術

干潟・藻場の高機能化関連技術（その1）

底質の固化造粒技術

特願 2003-291878

パガスを主原料とした土壌安定固化剤

特願 2003-349513

無機高分子凝集剤と有機高分子凝集剤を含有する土壌安定用団粒状固化剤

特願 2003-349513

汚泥固化用組成物および汚泥の固化方法

特願 2005-162865

浚渫土の処理装置

特願 2005-163333

濁水の固液分離装置

特願 2005-163334

ベルト式脱液装置

特願 2005-193233

浚渫土を用いた多孔質ペレットの製造方法

特願 2006-287581

軟泥土壌用粉末固化剤及びその製造方法

干潟・藻場の高機能化関連技術（その2）

浚渫固化物の利用技術

特願 2005-155574

海洋ブロックの製造方法

特願 2005-059268

水質浄化用焼結体及びその製造方法

特願 2006-227904

水質浄化用焼結体及びその製造方法並びにそれを用いた水域の水質浄化方法

特願 2006-237777

水質浄化剤及びその製造方法

特願 2007-069641

アサリの育成土

特願 2007-96636

アマモの造成方法

特願 2007-115080

磯根設置用浚渫土ブロック

特願 2007-174298

環境浄化剤及びその製造方法、並びに六価クロムの除去方法

人工干潟・藻場の造成技術

アマモ場造成技術

特願 2004-097414
海草の無菌培養法

特願 2005-109001
アマモ移植用基盤シート及びアマモ場の造成方法

特願 2005-155573
アマモの育成方法

底質改善技術（その1）

環境調和型養殖技術

特願 2005-125205
散気装置、泡沫分離装置及び排気浄化システム

特願 2005-238041
海藻養殖識別方法装置およびそれを用いた海藻養殖方法の識別方法

特願 2005-256175
有害赤潮原因藻類の増殖抑制方法

特願 2005-337179
アコヤガイ閉核力の測定方法およびそれを用いたアコヤガイの養殖管理方法

特願 2005-343676
有機物の分解装置およびそれを用いた貝の養殖方法

特願 2006-307773
貝肉含有廃水の処理方法

底質改善技術（その２）

酸素補給技術・有機物分解技術、他

特願 2005-028780

マイクロバブル発生ノズル

特願 2005-127692

泥中フミン物質の分解回収方法

特願 2005-310337

海底酸素消費量測定装置

特願 2005-125205

浚渫汚泥の処理方法

特願 2005-125205

アンモニア酸化・脱窒細菌群衆の集積培養方法